

## 平成 29 年度 第 1 回 相談支援体制に係るワーキンググループ活動報告

日 時	2017 (平成 29) 年 9 月 13 日 (水) 13 時 00 分～14 時 30 分
場 所	寒川町福祉活動センター会議室
出席者	中野委員 (座長)、牧野委員、小川原委員
事務局	千野、木内、竹内、塩原 (寒川町福祉課) 佐藤、斉藤 (ゆいっと) 安田、木下 (すまいる)
議事	
<p>1. 座長の選出 委員の方の互選により、中野委員が座長に選出された。</p> <p>2. 昨年度ワーキンググループの振り返り 座長の進行により、一昨年度、昨年度のワーキンググループの検討内容について確認した。</p> <p>3. 今年度の進行および議題について</p> <p>(1) アンケートについて (実施後の対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アンケート結果は、まずは書面で良いので早急にお返しした方がよい。</li> <li>● すでにまとまっている集計と合わせ、課題を明確に伝えられるよう、説明の機会が作れると、アンケートの実施だけで終わらず、町内でのつながり作りになるのではないかと。</li> <li>● 課題を整理し、より内容や方向性を絞るために「事例検討」をやってみてはどうか。</li> <li>● 相談を受ける人と“つながり作り”をすることが大切。見守りを継続しているケースが多いのは、支援のつながりが見えず、見守りしか手立てがない場合が多いのではないかと。</li> </ul> <p>(2) 今年度の議題・取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治会・民生委員の認知度が高い。身近な相談先として地域を支えてきた、この“寒川町らしさ”の長所を活かしていくことが大切。アンケート結果をもとにつなぐ活動を創る活動ができるとうい。</li> <li>● 地域で相談を受けている方と顔を合わせ、生の声を聞く機会があるとよい。ディスカッションの機械を作り、継続していくことが重要なのではないかと。</li> <li>● 相談支援事業所・当事者団体の認知度が低かったので PR していきたい。</li> <li>● 保育園や学校でも、発達支援が必要な子どもが増えてきていると聞いている。関心のある先生が発達障害などについて学べる任意の場があると良いのではないかと。</li> </ul> <p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アンケート結果は、お礼も併せて書面で年末までに報告する。 ⇒書面については雛形を作成し、11月10日(金)自立支援協議会に提案予定。</li> <li>● 寒川町自治会長連絡協議会や民生委員の会合に参加し、アンケート結果の報告や意見交換が可能か検討。</li> <li>● 「交流会」のような、相談を受ける人がつながりを持てる場を企画を検討する。 ⇒任意か？報告会か？事例検討形式か？等、詳細については今後検討する。</li> </ul> <p>【次回ワーキンググループ日程】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成 29 年 11 月 1 日 (水) 13:00～ 寒川町役場本庁舎 3 階議会第 1 会議室</li> </ul>	

